

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム
シルバーピアーズ愛

日付 平成16年10月23日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
3階建ての商業ビルを改装してのホームである。屋上に緑を配置し、休憩できるスペースが作られている。
ホームの壁は小さな絵で飾られ、各部屋にはのれんが提げられている。
設備的に制約を受けながらも、そのハンディを克服し落ち着いた雰囲気作りをめざして取り組まれている。

駐車場の一角には犬が飼育されていて、いつでも触れ合えるようになっている。また、1階には喫茶店を併設し、入居者と地域社会の接点とするなど、都会型のユニークな外周りが試みられている。
閉じこもりにならないよう、外出を心がけている。楽しい行事も関連のホームとともに企画、実施されている。

管理者は、職員の意見をよく聴き、話し合いが行われている。情報の共有化が出来ており、入居者の状態を職員は良く把握している。3ユニットであるが、入居者の心身の状態に合わせて各ユニットに入居しているため、生活のリズムが一致し共同生活を送るのに暮らしやすい。
提携の病院も近く、緊急時にはいつでも対応できる体制が整っており安心できる。

改善の余地があると思われる点
特になし

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 「あきらめから希望、笑顔とチームワーク、限りなきプラス思考」をモットーに、入居者が人間らしい人生を最後まで送れるように、職員は努力している。出来るだけ自分の事は自分でしてもらうため、過度の手助けは行わないように心がけ、声かけ、見守りをしっかり行っている。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 各居室の入り口は、それぞれ色の異なるのれんが提げられ、壁には小さな絵が飾られている。ユニット間の移動や、1階の喫茶店へはいつでも自由に行くことが出来る。また、喫煙場所もきちんと部屋を決められ分煙できている。 職員は、入居者の話をゆったりと聴く構えができており、バタバタしたところが無く見守りができている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居される前の生活や、今までの仕事を職員はよく把握している。 入居者に尊敬の念を持って話しかけ、教えてもらう姿勢で接している。声かけには入居者が話しやすいような配慮がされている。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 何か問題点があれば、必ず管理者に連絡が行くようシステム化されている。その都度みんなで話し合いを行い、同じ問題が起こらないよう具体的な対策を立案・実施し、改善に取り組んでいる。			